

パネルディスカッション

「後進を照らす」

座長 松島 加代子（長崎大学病院 消化器内科 / 長崎大学病院 医療教育開発センター 教授）
檜山 和也（長崎大学病院 形成外科 教授）
尾崎 遥（長崎大学病院医療教育開発センター 研修医）

ディスカッサント

谷城 博幸（長崎大学病院 臨床研究センター長 教授）
田中 健之（長崎大学熱帯医学研究所 臨床感染症学分野 /
長崎大学病院 総合感染症科 教授）
四方 正光（株式会社島津製作所 Shimadzu Nagasaki Collaboration Lab
分析計測事業部 ダイアグノスティクス統括部 シニアマネージャー）
瀬尾 真之助（株式会社島津製作所 産業機器事業部 ジオサイエンス部
技術グループ 主任）
山本 佳宣（兵庫県立がんセンター 消化器内科部長）
西村 隆宏（大阪大学大学院情報科学研究科 准教授）
武藤 学（京都大学大学院医学研究科腫瘍内科学講座 教授）

医療技術の進歩を持続的なものとするためには、新たな技術や知見を創出する研究力、それを臨床へとつなげる開発力、そして次世代を担う人材育成が不可欠である。一方で、働き方改革や人材不足が進むなか、診療・研究活動の継続、治験・臨床研究への症例導入、後進の教育など、多くの課題が顕在化している。

本パネルディスカッションでは、「後進を照らす」をテーマに、臨床・研究・教育の視点から、これからのレーザー医学および医療技術開発のあり方について議論する。

谷城博幸先生（長崎大学病院臨床研究センター）には、臨床研究や医療機器開発、治験推進における課題と展望についてご意見をいただく。田中健之先生（長崎大学熱帯医学研究所・総合感染症科）には、5-ALA 研究をはじめとする基礎研究から臨床応用への展開や研究人材育成についてお話しいただく。また、株式会社島津製作所（四方正光氏、瀬尾真之助氏）からは、産学連携による研究開発や「ながさき BLUE エコノミー」事業、地域に根差したイノベーション創出への取り組みについてご紹介いただく。

さらに、武藤学先生（京都大学大学院医学研究科 腫瘍内科学講座）、山本佳宣先生（兵庫県立がんセンター）、西村隆宏先生（大阪大学大学院情報科学研究科）にもご参画いただき、光線力学診断（PDD）・光線力学療法（PDT）をはじめとするレーザー医療の現状と課題、情報科学との融合による新たな可能性について議論を深める。

臨床・研究・教育の継続、産学連携による医療機器開発と地域創生など、多様な立場からレーザー医学の未来を展望する機会としたい。

本セッションを通じて、レーザー医学の発展のみならず、その未来を支える人材・研究・技術をどのように育み、次世代へ継承していくかについて、参加者の皆様とともに自由闊達な討議を行いたい。